

会 議 録

| | | |
|-----------|---|--|
| 会議の名称 | 行田市男女共同参画推進審議会(平成24年度第1回) | |
| 開催日時 | 平成24年7月12日(木) 開会:午後2時00分・閉会:午後4時00分 | |
| 開催場所 | 行田市男女共同参画推進センター 学習室 | |
| 出席者(委員)氏名 | 田代美江子、山崎孝子、井上文子、茂木美智代、山岸泰輔、 松本秀夫、西山カツ枝、矢本政子、松島弘、大野久美子 | |
| 欠席者(委員)氏名 | 長原順子、青木敦子、田島和文 | |
| 事務局 | 浪江美穂(課長)、加藤孝夫(所長)、石塚聖子(主査)、 | |
| 会議内容(議事) | (1)平成23年度男女共同参画関連事業の報告について (2)男女共同参画プランの進捗状況について (3)平成24年度男女共同参画関連事業計画(案)について | |
| 会議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 平成23年度実施事業状況 ・資料2-1 平成24年3月議会定例会 男女共同参画関係の質問について ・資料3 平成24年度男女共同参画推進センター事業計画(案) ・平成23年度分男女共同参画プラン進捗状況結果 | |
| その他必要事項 | | |
| | | |
| | | |

| 発 言 者 | 会議の経過(議題・発言内容・結論等) |
|-------|--|
| 司会 | 開 会 |
| 会長 | あいさつ |
| 司会 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 ・委員変更の紹介 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・始める前に自己紹介をお願いする。〈以下、各委員、事務局の自己紹介〉 ・それでは、議事を進めさせていただく。まず運営規則に基づき本日の会議、過半数が出席しているので会議は成立する。また、会議の公開について、非公開とする内容はあるか。傍聴人はいるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・非公開とする事項はなく、傍聴人はいない。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・では、公開ということで次第に従い議事を進行させていただく。はじめに議事の(1)平成23年度男女共同参画関連事業の報告について、事務局から説明をお願いする。 |
| 事務局 | <p style="text-align: center;">〈平成23年度男女共同参画関連事業の報告をする〉</p> |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・この説明について、質問や意見はあるか。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女参画の事業としてDVなどの対策事業が大事だと思う。当初は週に一回から、開かれる回数も増えているし、取り扱い件数も大分伸びているので、いいと思うが、相談したいが躊躇している方もいると思うので、門戸を広くどうすれば相談しやすくなるかを考えていってほしい。また相談事業は、何人で受けているか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・23年度につきましては、1人の相談員だったが今年度から2人体制である。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談するのは勇気が必要なので、相談しやすい環境づくりが必要である。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・今の関連で、相談人数46人とあるが、男性の方は何人ぐらいか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・男性は一割くらいである。県内の男女共同参画推進センターで男性からの相談を受けているのはあまりないケースである。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・男性の相談内容はDVか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・DVもあるが、離婚相談が多い。また、身体的な暴力でなく精神的な暴力の相談が男性は多い。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・男性のDV被害も顕在化している。ただ、男性が暴力を受けている場合、弱みを見せられないという「男ジェンダー」によって、受けていても言えないというパターンがある。それが言えるようになってきたということかもしれない。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談のあとの引き継ぎ体制はどのようになっているか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けた方が責任を持って最後まで対応している。 |
| | <p style="text-align: center;">今回、2人になりケース会議を行い、職員を交え、お互い報告し検討しながら</p> |

| | |
|------------------|--|
| <p>議長</p> | <p>相談を行っている。</p> <p>・例えば、ストーカーや暴力やDVの程度がひどい場合には、警察、病院などのネットワークなどの連携があったら教えてほしい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>・23年度はそのようなケースはなかったが、DVがあれば警察にはこちらから連絡はする。本人からも警察に申出をしてもらい、夜間等の対応の強化をお願いする。逆に警察から連絡をもらう場合もあり連携体制を取っている。</p> |
| <p>議長 委員</p> | <p>・他にあるか。なければ、この事業状況報告については、承認いただけるか。</p> <p><委員から了解いただく></p> |
| <p>議長</p> | <p>・次に(2)行田男女共同参画プラン進捗状況調査結果について、事務局から説明いただく。</p> |
| <p>事務局</p> | <p><3月議会答弁中、男女共同参画についての部分を説明></p> |
| <p>議長</p> | <p>・答弁の背景、位置づけはどのようなものか。「ウーマノミクス」という用語の説明もお願いする。また、本審議会での検討のポイントについて説明してほしい。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>・「ウーマノミクス政策」というのは、県の政策を受けての行田という意味で質問があった。「ウーマノミクス」は、「ウーマン」と「エコノミクス」の造語である。</p> <p>意味としては、女性の社会進出を促し、経済を活性化していこうという意味である。去年のプランの審議の中でも、委員から、女性の働く力とか意欲を社会の中で生かせるよう、女性自身もそのように意識をもっていき、女性が活性化し活躍していくことで、社会全体を活性化していくべきという意見があった。</p> <p>女性の視点を生かすと実際に効果が上がっているという実例がでてきているので、もっと行政が後押ししていきましょうというものである。</p> <p>・答弁中、男女共同参画の進捗状況については、たとえば本市の管理職のパーセンテージとか、審議会のパーセンテージとか、3次プランより実践的な行動とする具体的な数値を示して、実行していきますというプランであるので、行政としましても自信をもって答弁することができた。</p> |
| <p>議長</p> | <p>・第3次プランが議会で取り上げられ、その実現に向けての議論ができたということであるか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>・はい。</p> <p>進捗状況の結果のほうに移らせていただく。</p> <p><ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果の審議会等で女性登用数について説明></p> |
| <p>議長 委員</p> | <p>・この状況について質問があるか。</p> <p>・この表を見ると、女性がゼロというのがある。</p> <p>・行田だけでなく、全国的に見ても、女性の参画割合は低いし、これから女性</p> |

| | |
|-----|--|
| 議長 | <p>の能力をいかせる術を考えるべきである。この表を見ても、行田市の防災会議、交通安全対策会議、行田市の編さん委員会、これもゼロである、もう少し努力して、女性がどんどん活躍してもよいのではないか。</p> |
| 委員 | <p>・組織からの出向という形のために、どうしても、女性が出せないと聞いているが委員数が 32 人、23人といった中でゼロというのはやはり問題である。中でも人権の問題と関わる組織で女性がゼロというのは大きな問題である。</p> |
| 事務局 | <p>・やはり防災は、女性は参加していない。この表を見て、入っていないといけな いところに、女性がほとんど入ってないし、少し驚いている。</p> |
| 議長 | <p>・補足であるが、行田市の附属機関等の設置及び運営に関する要綱がある。その要綱の中に、女性の割合を 40%以上に努めることという条文がある。努めることだけだと、努めたけどできませんでした、ということにならないように、要綱の改正をお願いしている。</p> |
| 事務局 | <p>それからもう1つ、推薦母体に女性がいない場合、ぜひこの委員会を活用して、意見をくださいということも働きかけている。今年都市マスタープランや、地域防災計画というものを本市で策定するが、その中で、女性の視点を生かすという意味で、パブリックコメントがかけられる状態になったら、皆様にも、ご協力をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>・引き続き、中身の説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p><進捗状況調査結果等説明></p> |
| 議長 | <p>・評価の部分で、公民館に「F」というのがあるが、それは何か。</p> |
| 事務局 | <p>・2次プランにあった評価基準がそのまま使われ回答されている。前年度の進捗状況のプランにあった「F」で未着手という意味である。</p> |
| 議長 | <p>・全体についての検討を、第3次行田男女共同参画プランの5つの体系にそって基本目標ごとに議論したいと思う。まず、基本的なことで質問があればまずそれを先に伺いたい。</p> |
| 事務局 | <p>・予算がゼロというのは、予算が全くない状態なのか。</p> |
| 議長 | <p>・予算がなくても実施している事業はある。</p> |
| | <p>・平成23年度の実績というのは、第2次プランに基づいて実施したものであるが、第3次プランの内容に合わせて組み替えた評価がここに示されている。そのため、第3次プランの実施は、今年の4月からであるため、今の段階で、これが達成できているかという評価はしにくい。</p> |
| | <p>・他に聞いておきたいことはあるか。なければ、第1の基本目標である「男女共同参画の体制作り」の、1ページから 10 ページまでで、何か気づいた点、ご意見があれば、出していただきたい。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成ということで、行政の身近なところから、お茶入れ廃止というのがよいのではないか。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・実現しているのはいいこと。 ・次の男女共同参画の骨子作りとも関わりがあるが、環境づくりも含めて、ご意見あるいはご質問あれば、出させていただきたい。 ・では次に、第2の基本目標にある重点施策の4「ワークライフバランス」から6の「子育てしやすい環境づくり」までについて意見をお願いしたい。子育ての問題など具体的な問題や計画内容に対してでもいい。プランづくりの際も問題として上げられたが、行田の出生率や女性の雇用状況を示すM字の谷は、全国と比較しても少し低かった。このような行田の状況を反映してか、女性の就業率に関わる評価がほとんど既存事業の継続とした「C」となっている。やはり、次回も「C」とならないように、いいイメージで事業を進めていってほしい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・16 ページの育児、介護の休業制度の利用の促進の部分、男性の制度利用促進に触れた啓発活動というので、23 年度の実績が育児休業もゼロだし介護休業もゼロということで、男性が制度を利用すると、女性がまた働きやすいということがある。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業に比較して取りやすいはずの公務員の方から、しっかり取ってもらえればいい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・16 ページのいろいろな公民館講座で参加者が減少している、ずいぶん地域差が出ている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の取り組みというのは、すごく難しい。公民館の講座は市のプログラムで動いたりするのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・独自のものもあり、一斉にという場合もある。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館では相互に情報交換をし、実績を見ながら新しい事業を取り入れている。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、私が関わっている他の自治体で、「子育てパパ応援プログラム」をすすめるためにファシリテーター要請講座を公民館で開き、ファシリテーターを養成することで地域に広げて行くという試みをやっている。そういう取り組みの工夫が、公民館単位だけではなく、市域でも取り組めるといい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学級というのを公民館でやっているがとにかく参加者が集まらない。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・今、親も忙しい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな理由があるが集まるような、手立て、術を考えていかななくては、先へ進まない。 |
| 議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、3番目の「安全と健康も守るまちづくり」の、7・8・9を見ていただきました |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>い。防災分野における男女共同参画の推進で、具体的な事業の内容だけではなく、女性の不在といった構成員の内容も考えていきたい。</p> <p>・この部分について、3次プランの作成時に、かなり事業課とのキャッチボールをしてプランを作ったという経緯がある。委員会の中で市民公募をいれることで、女性を入れるチャンスを作るなど、各課が努力をしているというのは、実感として伝わっている。</p> |
| 議長 | <p>・第1の基本目標である体制とも関わるが、自治会との関係があるから男性だけなのか。</p> |
| 事務局 | <p>・3次プランでは、自治会長の中で女性の占める割合を2.7から10%にしよう、という数値目標がある。</p> <p>また、自治会に女性部という部会があり、そこの兼ね合いで、女性は女性部でというかたちになると、自治会長にならないこともある。ただ、自治会女性部自身も、何かをやりたいという気持ちが非常に強くて、実は後で24年度の事業の中に補足でご説明しようかと思ったが、今回自治会の女性部と、地域づくり支援課と、それからVIVAで女性の意見が出しやすいような事業を予定している。地域づくり支援課としては、率先してそういう仕掛けを作っていこうということで、VIVAと相談してやっている。</p> |
| 委員 | <p>・市のほうの取り組みがあつて、いろいろ変わってきたが、やっぱり去年の震災があった以降、だいぶ自治会長の考え方も、防災防犯に意識が高まっている。</p> <p>防災防犯の取り組みというのも、確かに女性ではなくては、細部について考えが及ばないようなところが大分でてきている。やっぱりこれからは、防災防犯が、自治会長として取り組む一番の仕事かなというふうな認識はしている。</p> |
| 議長 | <p>・メンバーが32人もいるはずなのに、うっかりすると女性がゼロになってしまう仕組み自体を、変えていかないとダメだと思う。だから、実際、防犯や防災は地域ごととか自治会ごとに具体的に取組むことが実効性のあることになる。たとえば先ほど出てきた女性部から、必ず1人は出るというような仕組みなどを考えていく必要がある。その他、例えば、一人親家庭の問題とか、高齢化の問題などでご意見はないか。</p> |
| 委員 | <p>・「生涯を通じた健康づくりの支援」という、22ページのところ薬物・喫煙・飲酒対策などのところで予算がついているので、県の各専門分野に頼んで各中学校を回るようにしていただきたい。実際の生の声を聞いたほうが、子ども達の心にも届くのでお願いしたい。</p> <p>それから、市内保育所12園中にまだ、半分ぐらいしか時間外保育をやっている</p> |

| | |
|-----|---|
| | ない、というデータがあった。保護者が安心して子どもを預けられるよう、12園全部がやっていただきたいという思いがある。 |
| 委員 | ・今の発言中、12園はすべて市の保育園か。 |
| 事務局 | ・公立は3園であとは民間の保育園である。 |
| 議長 | ・薬物の意見がでたので基本目標の第4、重点施策10からの部分の意見をいただきたい。 |
| 委員 | ・DV相談の情報は表に出して良いものではないが、内部で共有する必要があるのでは。 |
| 事務局 | ・その件については、3次プランで“DV対策連絡会議”と位置づけて立ち上げ、昨年度中に要綱を整備し、すでに今年度行っている。 DV事案に直接関わらない所も含んだ形で、DV関連の研修を準備しているところである。 |
| 議長 | ・行政は各課に分かれているので、どう連携していくのかが見える体制が大切であるので、3次プランでは目に見える形で評価できればよい。 |
| 事務局 | ・DVについては関係各課の連携についてのフロー図は大体出来上がっている。今後審議会の中で、示せるようにしたい。 ・連携会議を行ったことにより、今までは連絡が無かったような情報まで、連絡が入り変化が表れている。 |
| 委員 | ・中学生の保護者対象にDV研修を行うと聞いたが、どのように行うのか。 |
| 事務局 | ・日程は9月6日。今回は「デートDV」をテーマに、中学生の保護者を対象に実施するものである。 |
| 委員 | ・VIVAぎょうだでやるのか。 |
| 事務局 | ・そのとおり。会場も主催もここを使って実施し審議委員の皆様にも後日ご案内をする。お時間が許せば是非出席していただきたい。 |
| 委員 | ・中学生は呼ばないのか。 |
| 事務局 | ・中学生に対しては、学校が行っている。しかし、保護者はそういった機会が無いので、何気ない日常生活の友人とのやり取りの中にも気をつけてほしいということで、対象を保護者とした。 |
| 議長 | ・次に最後の部分について意見はないか。 |
| 委員 | ・行田には、消防に女性の団体がある。その団体から防災の会議に加わってもらうことはできないのか。 |
| 事務局 | ・担当課に伝えておく。 |
| 議長 | ・行田にDVを受けた被害者のためのシェルターはあるのか。無いとすればどこにつなげているのか |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | ・市内には無い。県の婦人相談センターにつなげている。 |
| 議長 | ・離婚相談の件数が多いが、どのように支援しているのか。 |
| 事務局 | ・離婚をしたいという相談だけではなく、気持ちを吐き出すための相談もある。この相談は女性のエンパワーメントを引き出すことが目的である。 一方で、内容によっては離婚の手続的なことも助言しなければならないので、相談員には法律的な専門研修も受けてもらっている。 |
| 議長 | ・第3次プランを本格的に評価するのはいつになるのか。 |
| 事務局 | ・来年のこの時期になる。 ・次回の審議会を秋に予定している。現在市では、地域防災計画、都市マスタープランなど見直しをしている。次回はそれらのパブリックコメントの時期に当るので、第3次プランの視点から皆様にも見ていただけるようにしたい。 |
| 議長 | ・次に平成24年度男女共同参画関連事業(案)について説明をお願いします。 |
| 事務局 | <平成24年度男女共同参画関連事業(案)>を資料3に基づき説明する。 |
| 議長 | ・質問はあるか。無いようであれば、4その他について何かあるか。 |
| 委員 | ・名刺サイズの相談案内が公民館などの窓口になくなっているところがある。パンフレットとともに再配布願いたい。 |
| 事務局 | ・すぐに対応する。 |
| 議長 | ・以上で議事を終了する、委員の皆様ありがとうございました。 |
| 副会長 | ・閉会あいさつ |